



定年退職のご挨拶ハガキへの 皆様からのご返事

都立産技高専（非常勤） 吉田喜一

少し恥ずかしいですが、いただいたご返事の一部を紹介いたします。

●機械工学科OB 原発事故をはじめとする、日本の衰退した不面目な科学技術に一石を投じるとすれば、貴殿のような、南千住から学校までの間を小難しい本を読みながら、見事に歩破する様そして、駅構内のベンチで酒の夢から覚めず、明日を考える様が必要不可欠と存じます。この5年ほど航空高専のような、フリーダムで少し寂しく貧乏で、そして明るく、異常にならぬかに執着する人材にお目にかかることがなく、非常に残念です。落第生に愛情を持って接して頂いたこと、愛情を技術で表現したこと、今も心に残り、誰よりも（おそらく）感謝しております。日本の本当の技術ステータスは、おそらく衰退する方向でなく、本来の力が、どこか非常に狭苦しいところに追いやられてしまったと思います。経済学者の意味不明なさばりに屈することなく、技術馬鹿として、喜一の精神を多少なりとも受け継いでいきたいと思っております。Dr. 吉田喜一におかれましては、明るく楽しい老後であることを心より祈念します。いずれにしても、航空高専には喜一は欠かせませんので、これからも、過去の微妙な栄光や石原都知事の発言に捕らわれず、泥臭い技術を後世にお伝えいただき、良い技術者の輩出をお願い致しますし、私に似た落第生にも優しくしてやってください。

●元中学の先生 それにしても旧航空高専一筋の人生、すべいですね。職場や学生への愛着は他の誰よりも強かったことでしょう。私の教え子のY君、K君が先生に大変お世話になりました。両君とも航空高専・機械工学科で学んで良かったと会うたびに述べます。先生のメールを拝見するたびに、世界を股に巡るお忙しい日々を過ごされていらっしゃる姿を思い起こし、研究を深めることへの羨ましさやいつも感じていました。28日の再度の最終講義、拝聴したいです。先生にはまだまだ先生にしかできないお仕事があります。さらなるご発展を心からお祈り申し上げます。

●機械工学科OB 高エネルギー加速器研究機構のMです。私の近況報告ですが、広島大学から受け入れて指導しました博士後期課程の大学院生が無事に博士号を取得して、4月よりポスドクとしてXV機構に就職しました。もつと良い指導法

があったのではと反省することも多いです。喜一先生には学生時代に素晴らしい指導（特に研究に対する真摯な姿勢を教わったこと）をして頂きまして、少しでもそれに近づけたらと思っておりますが、全く足元にも及んでいないことを痛感しております。研究の方では、新しい放射光用加速器のプロトタイプ的设计、製作をグループリーダーとして進めておりますが、こちらも勉強の毎日です。研究では相対論的粒子の新しい軌道計算法を模索しているのですが喜一先生から戴きました「一般力学」の教科書を開いて基礎（正準変換とか）を確認することも多いです（古典力学は古くて新しいと常々感じております）。

●機械工学科OBの母親 ほんとに長い長い高専へのご奉仕お疲れ様でございました。出来の悪いわが息子もお世話様になりました。先生の優秀なお弟子さん方は、きつとお寂しい想いをされていることと思います。先生の47年の高専生活は、人生の3分の2以上で、ポストンに行かれたり、楽しさも苦しさもあったと思いますが、充実した20歳からの人生だったと想像できます。素晴らしいし、羨ましいです。まだ少し高専でのお仕事がおありのようですがどうぞ今後、羽ばたいてご活躍くださいますように念じております。桜散らした雨になりましたが、これもまた格別の風情です。

吉田より定年退職のご挨拶

拝啓 桜の花が満開になりました。さて、私こと3月末をもちまして都立産業技術高専（旧航空高専）を定年退職いたしました。1948年1月日暮里で生まれ、1963年に航空高専・機械工学科（2期生）に入学し68年に卒業しました。1年間通産省にお世話になりましたが、69年に助手として高専にまたお世話になり、その後講師、助教授、教授をさせていただきました。2006年に都立高専は東京都から公立大学法人に移管され公務員でなくなりました。その関係で私の年だけ過渡的に定年が64歳になりました。したがって高専49年の歴史のうち学生として5年、教員として42年、合計年間お世話になりました。皆様には卒業生諸君を含めてたいへんお世話になりました。改めて御礼を申し上げます。

この間都立大学のB類で5年間（70〜75年）学ばせていただきました。また博士論文は千葉大学でお世話になりました。93年にはマサチューセッツ大学（UM）で在外研究をすることもできました。私が自慢できることは20歳で高専を卒業してずっと働き続けてきたことです。まだ若干非常勤講師を頼まれていますので、もう少し南千住に通うことになりませう。今後ともご厚誼の程よろしくお願い致します。3月に現役の学生・教職員対象の最終講義をしましたが、OB・OG諸君の要請で4月28日（土）午後再度行うことになりました。敬具

PS 8月までは月曜日午前（5年生）、火曜日午前（2年生）、金曜日午後（専攻科生）の授業を受け持っています。また、土曜日は朝9時から10時30分まで千葉商科大学で非常勤講師をしています。



衰退する商店街と 活性化のあり方を考える ③

こんにちは。南千住5丁目・メガネのサトウ4代目です。今回も、前々回からのお話しの続きです。

私は、究極の商店街活性化策は、商店街の土地の利用者（＝店舗経営者）と、所有者（＝地権者）が完全に切り離された、「全ての店舗がテナント形式で入居する商店街」を、新たに創つてしまうことだと考えています。家賃はあまり高額だと当初は入居しづらいので、売上げ歩合制を一部導入することで敷居を低くしつつ、同時に商店街費を漏れなく徴収します。これを基に、地権者がこの新しい商店街の広報活動や営繕を行うことで、テナントが接客や販売に専念できるような支援助し、売上げを後押しすることで、歩合制となつていく家賃の増収を図ります。土地の利用者と所有者の正に「協同」作業によつて、双方ともに収益の向上を目指すのです。

また、テナント区画の一部は、店舗と居住スペースを一体としたユニークな店舗兼住宅とし、片方だけの賃借は不可、セットで家賃を払う形式にします。これにより、店舗経営者の住宅事情をサポートすると共に、旧来の商店街の特徴である職住一体の環境がもたらす「地域コミュニティ」や、店主とお客の顔の見える「滋味豊かな賑わい感」が生まれ、大型店にはない「まじの個性」が創出されるのです。

さて、色々、問いが出ると思いますが、まず、「誰が入居するのか？」ということですが、非正規雇用がはびこり将来が見えない今だからこそ、商業や飲食業、サービス業で一旗揚げたい

と考える若者がきつといるはずですが。私も含めて、既存の商店主の中にも入居したいと考える人も出てくるでしょう。

次に、「誰がそんな新しい商店街を創るのか？」ということですが、現実的には市街地再開発事業の一環として行える可能性があります。このところ、東日本大震災を契機に、近いうちに起こりうると思われる「首都直下地震」の危険性が叫ばれるようになっていきます。古い建物が密集した既存の商店街は、防災の観点からは非常に不具合であり、再開発の必要性が高まることは必至です。その際、単に無味乾燥な再開発ビルを建ててではなく、新しい発想で賑わいのある商店街を中心に据え、それこそ空き家も空き店舗も孤独死も無縁な「人情あふれるまちづくり」、決して夢物語ではないと考えています。

次回回は、旅行のお話の予定です。お楽しみに！

■「太陽グラス」残りわずかです！■
先月号でご案内しました、5月21日・金環日食観察用の「太陽グラス（ガラス製）」ですが、おかげさまで多くの皆さまにお求め頂き、4月19日現在、当店在庫は19個となつております。なお、完売の際はご容赦下さい。

【消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎】
◆メガネのサトウ◆
南千住5丁目43の13【ユツ通り】
TEL 03（3806）4930
★休業日のごあんない（不定休です）★
4月：27（金）
5月：3〜5（祝）、21（月）、31（木）
★営業時間のごあんない★
平日（月〜金）：AM 9時30分〜PM 7時
土・日・祝日：AM 10時30分〜PM 6時

と考える若者がきつといるはずですが。私も含めて、既存の商店主の中にも入居したいと考える人も出てくるでしょう。